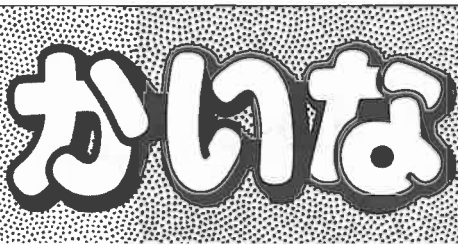


**機関紙『かいな』  
を支える  
財政支援カンパを  
お願いします**



全日本金属情報機器  
労働組合(JMIU)  
日本アイビーエム支部  
東京都港区赤坂2丁目20の6  
川瀬ビル5F 〒107-0052  
TEL.:03-3583-9037  
FAX.:03-5562-0853

定価 月 500円

尋問では「ベットのボルトは自分の前で一度、振っただけ」「足を踏み鳴らしたのでなく、貧乏ゆすりしただけ」などと否定し

**裁判ではめずかしい  
対質で尋問**  
補充尋問では、原告と

議の議事録を証拠提出し、上司がほとんどその会議に出席しては、原告の業績改善など出来ない

「IBMの外で活躍の場を求めませんか?」の「I

4月8日10時から東京地方裁判所619号法廷で、IBM退職強要・人権侵害裁判第2回証人尋問が行われ、二人の原告の尋問とそれぞれの上司の尋問が行われました。午前中に行われた主尋問では、一人目の原告が上司から目の前でベットのボルトを振り回す、足で床を大きく踏み鳴らす、テプルの天板を蹴り上げられるなど暴力的な退職強要を受けたとしてその様子を再現して、裁判長に退職強要の様子を生々しく訴えました。

「足を踏み鳴らしたのではなく、貧乏ゆすりしただけ」と主張したため、貧乏ゆすりの実演をさせられました。裁判長から、面談で言った「貴様」は「あなた」は時々使うのですか?と「尊敬の意味か?」と突っ込まれ、「喧嘩の時に使う」と言葉であると認めました。

午後からは、二人目の原告が証言にたち、主尋問で退職強要を受けたときの無念さ、悔しさ、その時のストレスによって病気が悪化した状況を切実に訴えました。

「退職強要で病気が悪化」を切実に訴える



〈裁判での尋問風景〉

**第25回「憲法フェスティバル」に参加しよう!**



記念曲発表  
作詞:木下恵介 作曲:住友紀人

憲法に  
今年  
カンパイ!

講演

東京大空襲と憲法9条  
—ある作家の体験から—



作家  
**早乙女 勝元**  
14:30~15:45 (予定)



◆映画「ホワイトアウト」  
「沈まぬ太陽」の音楽担当  
**住友 紀人**  
(ピアノ) **ヴォーカル 高瀬 麻里子**  
(ピアノ)

木下恵介さんのことは(裏面)に住友紀人さんが曲をつけ、高瀬麻里子さんが歌います。  
13:40~14:20 (予定)

新藤兼人監督の  
映画  
**「一枚のハガキ」**

◆今夏 テアトル新宿ほか全国ロードショー  
原作・脚本・監督:新藤兼人  
出演:香川俊三/大竹しのぶ 六平直政/大杉 進 橋本 明  
信貴美津子/小川雅彦  
©2011「一枚のハガキ」近代映画協会/渡辺商事/プランダス  
16:25~18:25 (予定)



25周年記念  
**ビデオレター**

各会場に上映します  
池田 幸子 神田 幸三 杉とせこ  
さんらによる

次号は5月16日(月)発行予定です

**5月28日(土)**

開場 午後1時00分 開演 午後1時30分 終演 午後6時30分(予定)

日本教育会館(一ツ橋ホール) 03(3230)2833

参加券:前売 2,200円/当日2,700円

大学生・障害者・付添人 各1,000円(前売・当日とも) 高校生以下無料

- ★手話通訳がつかえます(協力:東京都手話通訳問題研究会)
- ★保育室あり(希望される方は前もってご連絡ください)
- ★会場ロビー企画 書籍・CDの販売・サイン会等、楽しい企画を準備しています。

主催●憲法フェスティバル実行委員会  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2  
ステージビル1706号室 南北法律事務所貸付  
Tel・Fax 03(5211)0936

<http://www.kenfes.com/>

このたびの大震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。被災された皆さん、一緒にがんばりましょう。

**チケット販売中**

「憲法フェスティバル」に参加希望の方はお近くの組合員、または、組合事務所までお問い合わせ下さい。

組合事務所: TEL 03-3583-9037 (火、水、金 10時~16時)  
FAX 03-5562-0853  
e-mail [jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp](mailto:jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp)

# 4・14 本社前 半日指名スト決行 春闘要求の ゼロ回答に抗議



訴えをする大岡委員長

4月14日、春闘要求がゼロ回答でしかも誠意ある回答が得られなかったため、やむをえず半日の指名ストに突入しました。私たちの要求は、次のようにごく当たり前の要求です。

## ① PBC評価による減給をやめ、すべての仲間に賃上げをすること

会社は減給を撤回するどころか、もともと不透明なPBC評価の上、1000億以上の内部留保がある中で減給まで行い、半数の社員にしか賃上げをしない充分かつ納得できる説明がありません。2008年の大リストラで生き残ったSTH所属の二人の社員に対し、PIPや嫌がらせの仕事をアサインし続け、2年連続PBC評価を低くし、2010年賃金調整で減給を通告してきました。

## ② 雇用を守り、雇い止めをしないこと 永墓さんをレギュラー社員にすること

IBCSが日本IBMに統合されたのを受け、多くの有期雇用社員がレギュラー社員に変更したにもかかわらず、永墓さんのレギュラー化の要求がいまだに実現していません。

## ③ 退職強要をしないこと

組合への相談が複数件あるにもかかわらず、会社はリソースアクションの実態を隠したままです。東日本大震災のさなか、信じられないことですが、会社は社員を相変わらずひとりひとり個室に呼び出し退職強要をしていたことが判明しました。半日ストは、好天にも恵まれ、1500枚のピラを配布することができました。



本社前でスト決行

## 不当解雇と闘う日本航空の仲間達



## 熱気にあふれる会場



(2面より続く)

# IBM支部 退職強要場面をリアルに寸劇で表現 声を上げよう 4・14集会

### 許すな 乱暴な解雇・退職強要

日本航空は、運航乗務員と客室乗務員165人が不当に分限免職(整理)された。525人の社保庁職員が不当に分限免職(整理)された。解雇されて早1年。全厚生の組合員39人が『年金業務は継続するのになぜ私を解雇』『こんな理不尽な解雇を許さない』と不当解雇撤回を求めて闘っています。と力強い決意報告がありました。パイロットやキャビンアテンダントの原告100人以上の登壇は、迫力がありました。

ブルームバーグでは組合がありませんでした。不当な首切りと闘っています。辞めさせたい社員がいます。辞めさせたい社員がいます。辞めさせたい社員がいます。

日本IBMでは成果主義により社員を管理し、労働者の権利を奪い去ろうとしています。相対評価で下位15%の社員を作り出し、退職強要を繰り返しています。現在、退職強要の差し止めと損害賠償を求めて4人の組合員が東京地方裁判所で争っています。

## ① JAL 安全を無視した 不当解雇と闘う

## ② 社会保険庁 分限免職(不当解雇) と闘う

## ④ 日本IBM支部 人権裁判

4月14日、みらい座いけぶくろ(豊島公会堂)で航空労組連、国公労連、新聞労連、JMIUの4つの労働組合は乱暴な解雇・退職強要に反撃する国民的共通を大きく広げようとして、『許すな! 乱暴な解雇・退職強要・声を上げよう4・14集会』が約1000人の参加で開催されました。松平さんの美しいトランペットの音色で開幕です。主催者などのあいさつの後、この集会のハイライトであるJAL、社保庁、ブルームバーグ、IBMの闘いの報告がありました。

に無理な課題を押し付けて能力不足にしたてる業績改善計画(PIP)、突然呼び出した面接で『能力不足だから』と社員証をとりあげ、即日会社から追い出す『ロックアウト型退職勧奨』の実施、退職に応じないと自動的に解雇の実態を報告しました。

見にしかずとばかりIBMのリストの実態を多くの人々に伝えることができました。4月18日に、大集会で採択されたアピール文を携え4つの団体の代表が各会社社に要請を行いました。

## 大岡委員長あいさつ



(3面へ続く)

## 密室での退職強要を再現

